

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和4年度事業分)

施設名 山梨県立産業展示交流館アイメッセ山梨

所管課 産業労働部 産業政策課

指定管理者 公益財団法人やまなし産業支援機構

1 指定管理者の推移

導入年度	平成18年度					
指定管理者名	出資法人	指定期間				委託料総額 (単位:円)
財団法人やまなし産業支援機構	○	H18.4.1	～	H21.3.31	3年	
公益財団法人やまなし産業支援機構 (H23. 3. 31まで財団法人)	○	H21.4.1	～	H26.3.31	5年	
公益財団法人やまなし産業支援機構	○	H26.4.1	～	H31.3.31	5年	
公益財団法人やまなし産業支援機構	○	H31.4.1	～	R5.3.31	4年	89,828,947

2 施設の概要

所在地	甲府市大津町2192-8
設置年月日	平成7年7月7日
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立産業展示交流館アイメッセ山梨設置及び管理条例
設置目的	産業に関する製品の展示等を通じ、情報、技術、文化等の交流を促進し、もって本県における地場産業の振興及び文化の向上を図るため、産業展示交流館を設置する。
主な業務の内容	(1) 利用の承認に関する業務 (2) 施設及び設備器具の維持保全に関する業務
主な施設内容 (定員等)	○敷地面積 25,760.6㎡ (第2・3駐車場は含まない) ○建築延面積 9,945.9㎡ ○建物の構造 鉄筋コンクリート(一部鉄骨)造、地上4階建て ○施設の内容 ・貸出用施設 1階 屋内展示場 4,860㎡ 4階:会議室 212㎡ 屋外展示場 1,080㎡ 冷暖房設備付・エレベーター1基付 ・駐車場 第1駐車場(構内) 4,300㎡(250台収容) 第2駐車場(東側隣接地)12,383㎡(470台収容) 第3駐車場(NEC西側) 8,638.3㎡(430台収容)
備考 (改築工事等の状況、 一括管理施設等)	

## 指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和4年度事業分)

### 3 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

年度 項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考
収入合計	144,902,857	116,965,995	76,217,985	138,889,508	143,115,772	
支出合計	128,815,953	107,480,674	89,446,965	120,058,520	130,202,141	
収支差額	16,086,904	9,485,321	△ 13,228,980	18,830,988	12,913,631	

### 4 利用状況、利用者満足度の状況

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考
利用実績	86件	87件	37件	80件	98件	イベント主催者利用 件数
利用者 満足度	◎	◎	◎	◎	◎	「満足」又は「どちらかとい えば満足」の合計 ◎:80%以上 ○:60%以上80%未満 △:60%未満

### 5 運営目標の達成状況(令和4年度)

令和4年度の展示ホール利用状況について、延べ利用件数は98件(前年度比+18件)、全面換算での延べ利用日数は120.1日(前年度比△8.6日)、利用率は34.8%(前年度比△2.5ポイント)であった。  
新型コロナウイルス感染症が収束に向かう中、利用件数は前年度を上回ったものの、ワクチン接種会場の規模が縮小したこともあり、利用日数及び利用率などは前年度を下回る結果となった。

### 6 施設所管課による総合的な評価及び指導事項(令和4年度)

施設の維持管理については、施設の老朽化が進んでいることから、施設全体の設備等の不具合状況を把握し、県との情報共有を図ること。  
利用状況については、新型コロナウイルス感染症の流行の収束に伴う展示会・イベントの復活により、利用件数が過去5年間で最多の実績となり、目標を達成した。  
感染症対策を実施する中で新たに生まれた施設利用の可能性を活かし、利用者のあらゆるニーズに応えることで、更なる利用の促進、新規利用者及びリピーターの確保並びに利用率の向上に努めること。  
また、アイメッセ山梨独自のワンストップサービス(旅行代理業務による宿泊、飲食、設営等の各種業務の手配を一括で行う取り組み)については、利用者のニーズに応じた内容充実を図り、更なる利便性の向上を期待する。

### 7 施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況(令和4年度)

施設の維持管理について、必要な修繕を行い、利用者からの要望・意見に速やかに対応し、利用環境の維持や安全確保に努めた。併せて、令和4年度も引き続き施設全体の設備等の状況を把握するため、内部での調査を進めている。  
また、令和4年度には県所管課による無線LAN環境(Wi-Fi)整備工事を実施、令和5年1月末から運用が開始された。新型コロナウイルス感染症の流行の収束により、展示会・イベントが多く開催されることが見込まれる中、通信環境の点において利便性の向上が図られ、利用者満足度の向上が期待される。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和4年度事業分)

施設名 山梨県立産業展示交流館アイメッセ山梨

所管課 産業労働部 産業政策課

指定管理者 公益財団法人やまなし産業支援機構

1 利用状況 (単位:件、%)

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用者数	年間展示ホール利用件数	86	87	37	80	98
	利用件数合計	86	87	37	80	98
	目標値	88	82	73	49	48
	実績/目標割合	97.7%	106.1%	50.7%	163.3%	204.2%
	目標値の設定方法	リピーター 30% 新規 8%	リピーター 28% 新規 7%	リピーター 25% 新規 6%	リピーター 20.7% 新規 2.3%	リピーター 18% 新規 2%
	稼働率等(利用率)	40.3%	35.1%	10.8%	37.3%	34.8%
利用率	稼働率等(利用率) の算定方法	合計年間利用日数/年間営業日数で算定する。 利用日数は、全面利用の場合を1日とし、2/3面利用は、0.66日、1/3面利用は、0.33日に換算する。				

2 類似施設・近隣施設

名称・施設 内容等	(1)セレス甲府 (2)甲府市総合市民会館
--------------	--------------------------

3 補修工事等の状況(令和4年度) (単位:円)

県	無線LAN環境整備工事	120,890,000
県	スライディングウォール工事外4件	35,200,000
管	展示棟外壁南側レンガ積復旧工事	356,400
管	非常用予備発電機ブレーカー修理	418,000
管	第一、第二駐車場外灯修繕外12件	4,928,242

修繕等の負担区分(基本協定書): 1件60万円未満の修繕等は指定管理者が実施  
\*ただし、上記にかかわらず、県の承認により、指定管理者が修繕等を実施することができる。

4 自動販売機設置状況等(令和4年度) (単位:円)

台数	選定方法	収入割合	収入額	仕入(支出)額
1	入札	年間設置料	331,320	
2	入札	年間設置料	479,820	
2	入札	年間設置料	478,500	



## 指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和4年度事業分)

### 6 自主事業の実施状況

	事業名	対象者	実施場所
1	旅行代理業務	利用申請者	アイメッセ山梨
2	商品(お茶・水)販売業務	利用申請者	アイメッセ山梨
3			
4			
5			

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和4年度事業分)

7 利用者満足度

実施方法等	実施時期: 令和4年4月～令和5年3月 実施方法: 利用者(イベント主催者)へのアンケート 回答数: 98人(回収率100%)			
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
①施設や設備の状況	87.8%	11.2%	1.0%	
②施設のサービス提供	88.8%	11.2%		
③職員・スタッフの対応	94.9%	5.1%		
④施設全体の満足度	91.8%	8.2%		
⑤再度利用希望	58.2%	41.8%		
施設全般の満足度	91.8%	8.2%		
利用者の主な意見	○イス・テーブルの破損品が散見された。			
利用者の意見への対応	○イス・テーブルの破損について、備品の総点検を行い、イスのアジャスター部品交換や、テーブルの天板の凹みをパテなどで埋めるなどの補修を行った。今後も適宜点検・補修を行うとともに、補修では十分に改善できない備品については交換を行う。			

## 指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和4年度事業分)

### 8 評価結果

項目	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理 業務	<p>各業務ごとに年間契約による保守管理点検業務を行った。</p> <p>法定点検やその他施設・設備維持管理業務のマニュアルを整備し、維持管理の向上に努めた。さらに利用者の利便性向上のため、各種修繕の充実、備品の購入整備を行った。</p> <p>やまなしグリーン・ゾーン認証基準に則り維持管理業務を行った。</p>	<p>施設の維持管理については、アイメッセ山梨管理業務仕様書に基づき概ね適正に実施されている。</p> <p>施設の経年劣化に伴い、不具合が生じている箇所もあるが、法定点検や日常点検を実施し適正に執行されている。</p> <p>引き続き、利用環境の維持や利用者の安全を確保し、適切な施設管理に努めること。</p>
運営業務	<p>感染拡大予防対策ガイドラインに則り、入館者の受付管理、消毒液の設置、マスク着用、サーマルカメラの設置、飛沫防止衝立、利用後の備品消毒など感染予防対策に努めた。利用者には、やまなしグリーン・ゾーン認証基準の周知を図り、感染対策の徹底を図ってもらった。</p> <p>また、設営、清掃、警備、飲食、宿泊施設の紹介やイベント時の各種届け出の助言などを行い、利用者の利便性・満足度の向上に努めた。</p>	<p>業務計画書に基づき、概ね適正に実施されている。</p> <p>また、やまなしグリーン・ゾーン認証基準に則り、施設管理者として利用者に対する感染症対策を徹底して行うとともに、利用者の利便性・満足度向上のために各種紹介や助言等を積極的に行っている。</p> <p>今後も誰もが安全・安心に利用できる環境づくりに取り組むとともに、利用者の利便性・満足度が向上するような施設運営に努めること。</p>
利用状況	<p>令和4年度の展示ホール利用状況について、延べ利用件数は98件(前年度比+18件)、全面換算での延べ利用日数は120.1日(前年度比△8.6日)、利用率は34.8%(前年度比△2.5ポイント)であった。</p> <p>新型コロナウイルス感染症が収束に向かう中、利用件数は前年度を上回ったものの、ワクチン接種会場の規模が縮小したこともあり、利用率などは下回った結果となった。</p>	<p>令和4年度は新型コロナウイルス感染症流行の収束に伴う展示会・イベントの復活により、利用件数が過去5年間で最多の実績となり、目標を達成した。</p> <p>感染症対策を実施する中で新たに生まれた施設利用の可能性を活かし、利用者のあらゆるニーズに応えることで、更なる利用の促進、新規利用者及びリピーターの確保並びに利用率の向上に努めること。</p>
収支状況	<p>新型コロナウイルス感染症が収束に向かう中、展示場の利用内容に活気が戻り始めたことで旅行代理業務(施行会社やケータリング等の仲介)や自動販売機の設置料金が増加した一方、施設利用料は利用率の低下に伴い昨年を下回ったが、電気代高騰で指定管理委託料が増額されたことで、収入は前年度を上回った。</p> <p>光熱水費の高騰のほか、老朽化した設備の修繕費などの経費が増大したが、外部委託項目の内製化に取り組むなど経費削減に努めたことで、支出額は前年度を下回った。</p>	<p>令和4年度は新型コロナウイルス感染症流行の収束に伴いワクチン接種会場の規模が縮小したことで利用率が低下し、施設利用料は前年度を下回った。</p> <p>引き続き、適切な施設の修繕を施すことで経費削減に取り組むとともに、今後の施設利用の需要の復活を見据え、積極的な営業活動や周知活動を通じて新規利用者の獲得及びリピーターの確保に努めること。</p>

### 指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和4年度事業分)

<p>自主事業</p>	<p>旅行代理業務による宿泊、飲食、設営等の各種業務の手配を一括で行うワンストップサービスは、信頼できる業者を手配できることから、特に県外からイベント開催・撮影で利用する利用者から好評を得ている。</p>	<p>自主事業は施設の利用率を向上させると共に、施設の設置目的にも貢献するため、利用者満足度及び利用率向上に繋がるサービスを提供できるよう、適正な自主事業の運営に努めること。 また、アイメッセ山梨独自の取り組みであるワンストップサービスについては、利用者のニーズに応じた内容充実を図り、更なる利便性の向上を期待する。</p>
<p>利用者満足度</p>	<p>施設全般の満足度調査で、利用者から「満足」「どちらかと言えば満足」との評価をいただいた。今後も、アンケート調査の実施や利用者への積極的な声かけ等により、生の要望を集め、満足度の維持・向上に努めていく。 また、新型コロナウイルス感染拡大防止対策については、具体的な説明を行い利用者から協力が得られた。引き続き利用者が安全・安心に利用できるよう努めていく。</p>	<p>利用者の満足度は高く、利用者からの質問に対しても適切に対応している。引き続き、利用者のニーズの把握に努め、要望に対しては迅速かつ柔軟に対応することで、満足度の向上を目指すこと。</p>

### 9 施設所管課による定期評価結果

<p>施策推進業務の内容</p>	<p>評価</p>	<p>改善内容</p>
<p>施設の利用促進業務</p>	<p>施設の利用向上を図るため、年間営業活動目標値を272件と設定した。 山梨県グリーン・ゾーン認証施設としての周知活動及びやまなしグリーン・ゾーン認証基準の周知活動等の営業強化を図り、展示場・会議室の使用件数も98件と目標値を上回る結果となった。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症感染拡大に伴い、施設利用に制約がある中、やまなしグリーン・ゾーン認証施設として、感染症対策を強化するとともに、積極的な営業活動により、施設の利用件数も目標値を上回った。 感染症の収束後も継続して新規利用者及びリピーターに対して営業活動を実施し、利用率の向上を目指すこと。</p>



指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和4年度事業分)

10 管理体制(組織図)

令和4年4月1日現在

